



NIFS KANOKA

2024

鹿屋体育大学 大学案内

National Institute of Fitness and Sports in KANOKA



スポーツで
未来を拓く
自分を創る





総合体育館 主体育室



テニスコート



総合体育館 体操練習室



武道館



総合体育館 ダンス練習室

体育学部

アドミッション・ポリシー

- 1. 【体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生】
文系・理系に偏ることのない基礎学力とともに、自分の得意分野の実技能力をも身に付けている学生
- 2. 【自己表現ができる学生】
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ・武道および体育・健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生
- 3. 【新たな課題に挑む意欲のある学生】
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生

カリキュラム・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で、市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、課程や学生の志向性に沿って、学年進行で1.専門性の深化と充実、2.社会人としての豊かな教養の涵養、3.将来を展望し、勤労観・職業観を醸成できるための教育課程を編成しています。

ディプロマ・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するための知識・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を認定します。

教育課程の編成

授業科目は原則として学期完結型の科目（学期毎に単位が取れる科目）として設定しています。ただし、一部の科目について、通年科目（1年間履修して単位がとれる科目）となっています。

	1年	2年	3年	4年	
一般科目	コミュニケーション科目				
	社会・文化・自然科目				
	総合科目				
キャリア形成科目	キャリアデザイン科目				
専門科目	基礎科目A (人文・社会・自然系)				
		基礎科目B (指導・普及系)			
		応用科目			
		実験演習科目			
	関連実技科目				
		ゼミナール (卒業研究)			
専攻科目	専修科目				
		指導実践科目			
教職科目	教職				
		専門			

- コミュニケーション科目：国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を涵養する科目
- 社会・文化・自然科目：社会の一員として、人間、社会、文化自然及び環境に関する教養や態度を涵養する科目
- 総合科目：社会の一員として、基礎的な情報リテラシー、表現的能力や討論力を身につける科目
- キャリアデザイン科目：スポーツリーダーとしての将来像と勤労観・職業観を醸成する科目
- 基礎科目A（人文・社会・自然系）：体育学の基礎となる人文・社会及び自然系の分野の内容を理解する科目
- 基礎科目B（指導・普及系）：スポーツ・武道及び体育・健康づくりについての指導や普及の基礎的な内容を理解する科目
- 応用科目：国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導し、普及させるための専門的、応用的な内容を身につける科目
- 実験演習科目：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な科学的支援力や表現的能力を身につける科目
- 関連実技科目：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な実技力を身につける科目
- ゼミナール（卒業研究）：スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける関心のあるテーマについて、体育学の知識を総合的に活用し、課題設定、解決、説明する能力を身につける科目
- 専修科目（アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につける科目
- 指導実践科目（アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）：専修科目等で身につけた体系的な実技指導力や事業運営力を実地的・実践的に活用し、深める科目
- 教職：中学校や高等学校の教員としての免許を取得するための教職に関する科目
- 専門：中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許を取得するための専門（教科）に関する科目

また、授業科目は下表のように、履修（選択）の仕方により「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」に分類されます。

区 分	科目区分の特徴（ねらい）
必修科目	単一の授業科目で、その修得が義務づけられている科目
選択科目	複数の授業科目のうちから指定する科目数又は単位数の修得が義務づけられている科目
自由科目	必修科目及び選択科目を除き、その修得を卒業認定の要件とされている科目

授業時間

1：学期と授業時間割

学年を前期（4月1日～9月30日）と後期（10月1日～3月31日）に区分し、原則として学期ごとに授業科目の設定を行います。なお、授業は、原則として各学期とも15週（試験を課す場合は16週）にわたって行います。授業は、下表のとおり行います。集中講義や学外授業などを行うことがあります。

前期：4月1日～9月30日
後期：10月1日～3月31日

	開始	終了
第1時限 (90分)	8：30	10：00
第2時限 (90分)	10：10	11：40
第3時限 (90分)	12：40	14：10
第4時限 (90分)	14：20	15：50
第5時限 (90分)	16：00	17：30

2：休業日

休業日（授業を行わない日）は次のとおりですが、休業日においても特別な場合には授業を行うことがあります。

- ①週休日（土曜日・日曜日）及び国民の休日に関する法律に定める休日
- ②開学記念日（10月1日）
- ③夏期休業日（8月5日～9月30日）
冬期休業日（12月24日～1月9日）
春期休業日（3月11日～3月31日）
- ④その他大学が定めた日
注：休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります（集中講義等）。

3：授業の方法

講義、演習、実験、実習もしくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。また、授業は対面形式の他、遠隔形式で実施しているものもあります。
※情報活用能力の育成等のため、ノートPC、タブレット等の情報機器を必携としております。



スポーツ総合課程

スポーツ 総合課程の 目標

専攻系の 紹介

スポーツ総合課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに関する専門的能力を、理論と実践の往還を通じて修得することにより、バイタリティーを持ち、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

アスリート・コーチング系

トップレベルの競技力の向上、ジュニア期からトップレベルまでのコーチングを行うことのできる人材を養成するコース。

生涯スポーツ系

健康づくりのコーディネートやスポーツクラブ等の管理運営、プログラム開発を行うことのできる人材を養成するコース。

在学生からのメッセージ

スポーツ総合課程2年

年見穂風

TOSHIMI Honoka

Q1：なぜ鹿屋体育大に？

指導者の先生方や、周りの環境が素晴らしく競技に集中できると思ったからです。

Q2：今頑張っていること、目標は？

自転車競技で日本一になるということ、教員免許を取得することが目標です。

Q3：好きな授業はなんですか？

卓球の授業です。球技は苦手でもテストも合格できるか不安でしたが、先生方が優しく教えてくれたおかげで合格できました。いろんな学生の人たちとの交流の時間も多く楽しかったです！

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

鹿屋体育大学は勉強も課外活動もどちらも一生懸命取り組みたいという人にぴったりの環境です。鹿屋体育大学を目指しているみなさん！一緒に目標に向かって頑張りましょう！

私の時間割＜1年後期＞

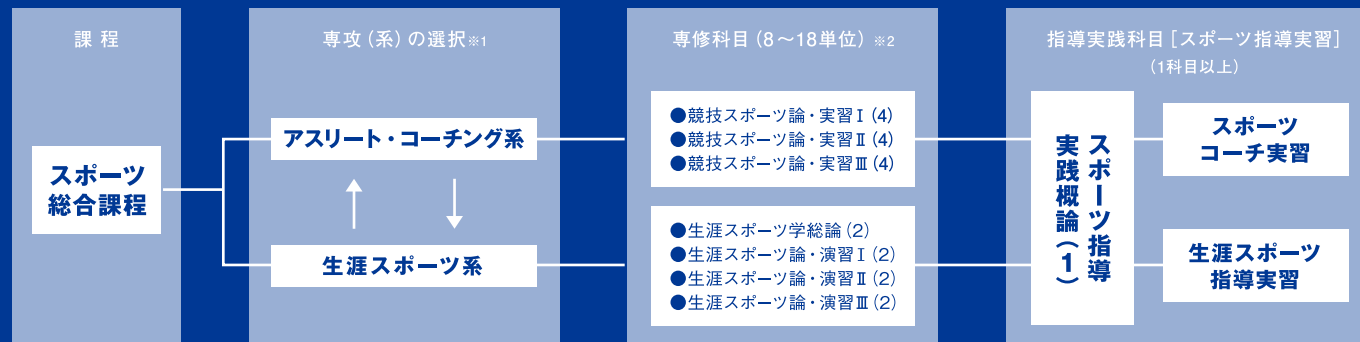
	月	火	水	木	金
1限		スポーツ心理学	人権論	総合英語Ⅲ (健康とスポーツ 関連の英語)	運動生理学
2限		キャリアデザインⅡ スポーツ指導 実践概論		日本国憲法	特別支援教育
3限		国語・文章 表現法	体育学実験Ⅰ	教師論	衛生学・ 公衆衛生学
4限	柔道		体育学実験Ⅰ	ラグビー	競技スポーツ論・ 実習Ⅰ (自転車競技)
5限			体育学実験Ⅰ		競技スポーツ論・ 実習Ⅰ (自転車競技)

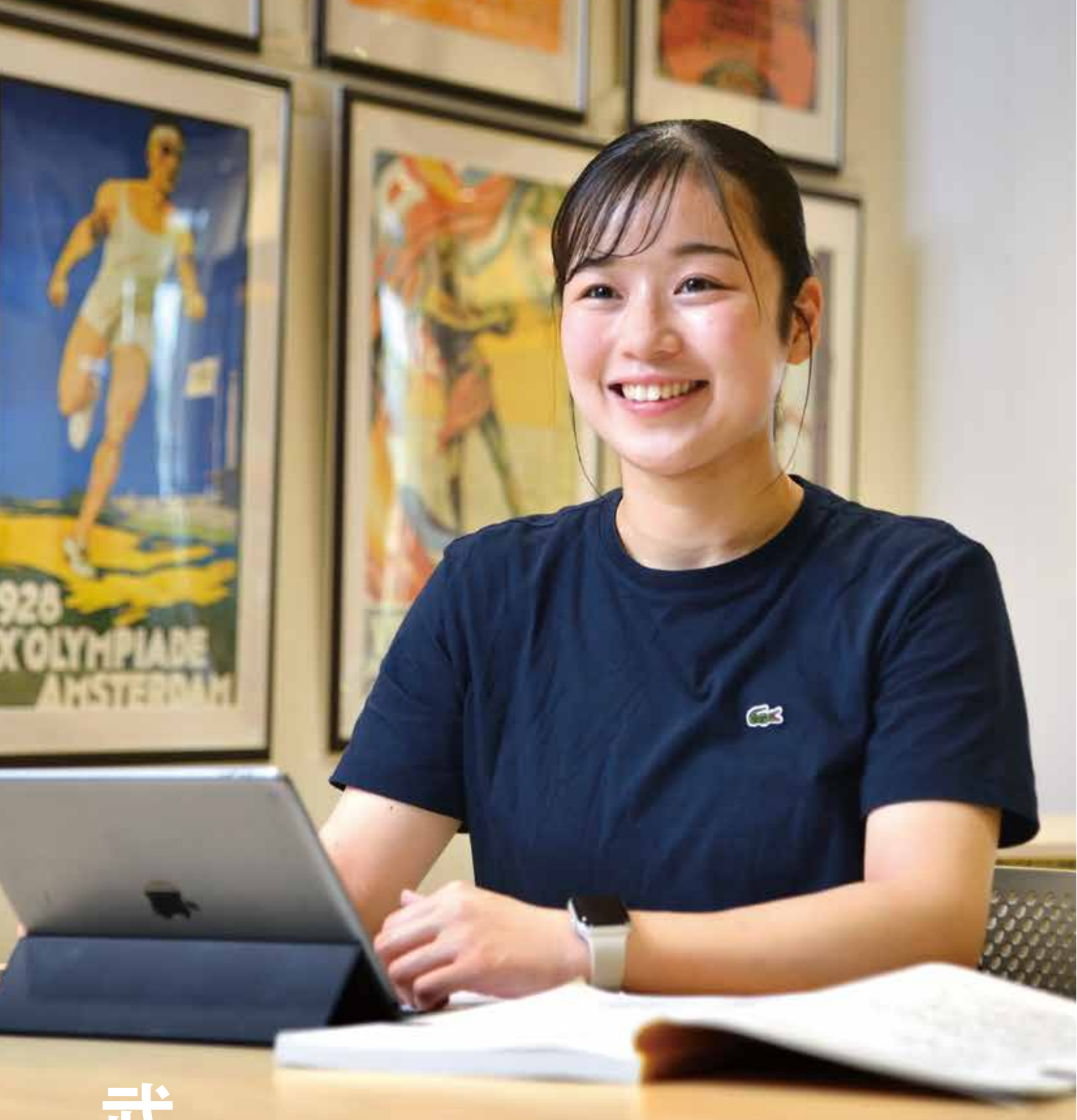
■総合型選抜(SS)入試 ■出身校：宮崎県立都城工業高等学校



専攻科目の系の選択

※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。※2) 各系の必修科目を示しています。
(注) 選択した系以外で履修可能な他系を → で示しています。()内は単位数





武道課程

武道課程の目標

武道課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、我が国発祥の身体運動文化として伝承され、今日において競技文化としても広く認識されている武道、特に柔道・剣道における心と技を伝統的修練形式である稽古を通じて修得することにより、武道の精神と、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

武道系

武道における「こころ」と「わざ」を伝統的修練形式により学び、武道の実技指導を行うことのできる人材を養成するコース

在学生からのメッセージ

武道課程3年

大淵 真由

OBUCHI Mayu

Q1：なぜ鹿屋体育大に？

国立大学唯一の体育大学という点、スポーツ・武道について深く学習できる点、中学校・高校の保健体育の教員免許を取得できる点、そしてインカレで日本一の実績がある剣道部でさらに自分を高めていきたいと思った点から鹿屋体育大学を受験しました。

Q2：今頑張っていること、目標は？

課外活動と勉強の両立です。課外活動ではレギュラーに入ることを目標に努力しています。勉強では授業はもちろん、本学で取得できる資格を最大限取れることを目標に努力しています。

Q3：好きな授業はなんですか？

武道史の授業です。武道の一つである剣道や柔道の起源などはもちろん、なぜ「武道は人間形成の道である」という言葉が言い伝えられているのかなどを知ることができ、面白い！と感じたことを覚えています。

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

鹿屋体育大学は自然の環境と充実した施設が整っており、SPORTECスポーツパフォーマンス研究センターでは最先端の練習が出来ます。また、どのスポーツも全国トップクラスの選手が集まっているため刺激や学びを得ることが多いです。スポーツに興味があるみなさん、ぜひ鹿屋体育大学で一緒に目標に向かって頑張りましょう！

私の時間割＜2年前期＞

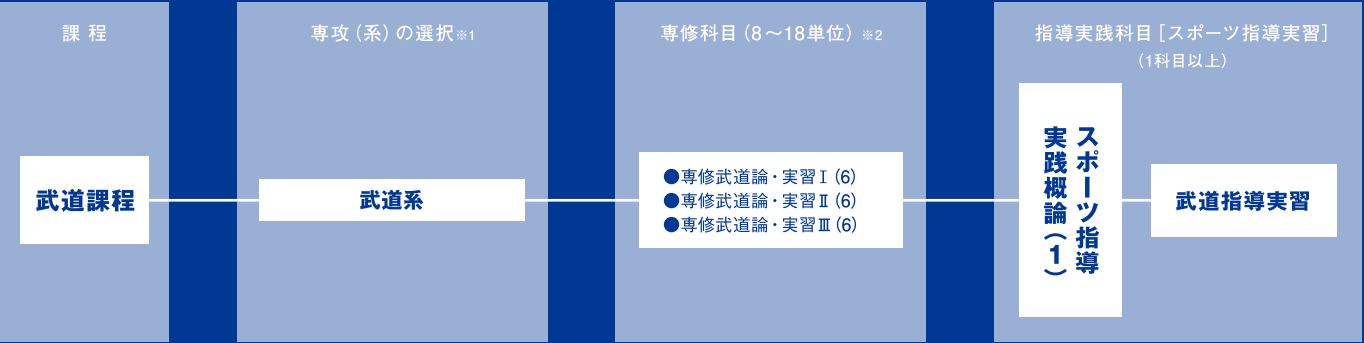
	月	火	水	木	金
1限		歴史学 社会学	保健体育科 教育法Ⅱ		
2限	教育方法・ 技術				
3限			学校保健		衛生学・ 公衆衛生学
4限	教育課程論		コーチ学概論 運動学概論	弓道	専修武道論・ 実習（剣道）
5限					専修武道論・ 実習（剣道）

■一般選抜 ■出身校：福岡県立嘉穂高等学校



専攻科目の系の選択

※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。※2) 各系の必修科目を示しています。
(注) 選択した系以外で履修可能な他系を → で示しています。() 内は単位数



在学生（編入学生）からのメッセージ

スポーツ総合課程4年

蜂須賀 友助

HACHISUKA Yusuke



Q1：なぜ鹿屋体育大に？

編入前の大学でスポーツについて学ぶ中で、より深く高いレベルで学びたいと思ったからです。元々、一般選抜で鹿屋に入学しようとしたのですが、残念ながら受験に失敗しました。当時からの編入学の制度を知っていたため、このような方法で入学しました。

Q2：今頑張っていること、目標は？

大学の講義はもちろん、課外活動（硬式野球部）で全国大会で勝利するために文武両道に励んでいます。また、「スポーツをカタルガ！」などの本学が実施するイベントにも積極的に参加して、アナウンサーになるという夢を叶えるため、スポーツの魅力を伝える活動も行っています。

Q3：好きな授業はなんですか？

「競技スポーツ論・実習」の授業は、鹿屋ならではの授業だと思います。各専門競技について、戦術や技術の話、歴史やマネジメントなどの様々な観点から掘り下げていきます。競技力向上にもつながりますし、競技の取り巻く環境などにも触れることで、より競技の魅力を知ることができました。

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

編入学は2年間と短いですが、鹿屋体育大学では様々な観点からスポーツについて学ぶことができ充実した日々を過ごすことができます。将来、プレイヤーとして活躍したい人、教員など体育・スポーツの魅力を語っていきたい人、スポーツに何らかの形で関わってみたい人なら、ぜひ鹿屋体育大学に来て、素晴らしい先生や先輩、周りの方々と一緒にみなさんの夢を叶えていきましょう！

私の時間割＜3年前期＞

	月	火	水	木	金
1限			アスレチック トレーナー論	スポーツ戦術 実践論	スポーツと法
2限	生徒・ 進路指導論	スポーツ マネジメント論	スポーツ 社会学	運動生化学	
3限		ソフトボール	スポーツ医学		スポーツ トレーニング 実践論
4限	教育心理学		バドミントン		競技スポーツ論・ 実習Ⅱ－野球
5限					競技スポーツ論・ 実習Ⅱ－野球

■第3年次編入学 ■出身校：岐阜県立長良高等学校、
中部学院大学 スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科



□ 体育学実験Ⅱ ーバイオメカニクスー

本授業は、地面反力計、3次元動作分析システム、および位置座標測定システムを使い、バイオメカニクスの視点から身体運動を考える科目です。機器の測定技術を得るとともに、データの分析方法及び解釈について専門理論を学習し、学生が研究計画の立案および研究を行うための素養を身につけることを目指した授業です。

Pick up | 注目授業

□ 保健体育科教育法Ⅲ

4年次の教育実習に向けた実践力を身に付けるために、保健体育科の目標や内容、指導法、評価法等について理論と実践を往還しながら、単元構造化、学習指導案等を作成して模擬授業を行います。模擬授業の実施に当たっては、選択領域を「球技ゴール型・ネット型」、「体づくり運動・器械運動」、「体育理論・保健」の3つに分け、その中から各自で2領域を選択します。



ゼミナール Seminar

ゼミナールは、少人数の学生が指導教員の下で、お互いに質疑討論を交わし、学習成果を発表しながら専門研究領域における知識を深め、研究方法を履修していく授業形態です。3,4年次の必修科目で、各指導教員により実施されます。ここでは、数あるゼミの中から3つを紹介します。

スポーツ・武道実践科学系 藤井 雅文ゼミ | 競技力・チーム力向上に向けた取り組みの検証

私たちのゼミでは、主に野球専攻生が在籍し、パフォーマンス向上やチーム力向上、スポーツと社会の関わり、スポーツが抱える問題などについて、各自で研究テーマを設定します。SPORTECスポーツパフォーマンス研究センターや、地域一体型の課外活動団体運営など、鹿屋体育大学ならではの研究フィールドで研究を進めることができます。普段のゼミ活動では、各々が決めたテーマについて全員で意見を出し合い、内容を整理することで、様々な知見を獲得することができます。また、学力や競技力に関係なく、いい雰囲気積極的にディスカッションすることで、各自思考を深めることができるのも本ゼミの特徴です。



平泉 誠悟さん

HIRAIZUMI Seigo

■一般入試
■出身校：愛知県立豊田南高等学校

私は野球の投球動作に関するパフォーマンス研究がしたいと思い、藤井ゼミを選びました。ゼミでは初めて扱うような様々な測定機材や測定方法について知ることができます。私自身、モーションキャプチャ等を用いて投球動作の分析を行っており、難しいこともありますが充実した時間を過ごしています。また、ゼミ仲間とのディスカッションによって、考え方を正しく整理することができているため、現在の競技生活に繋がっています。



スポーツ生命科学系 沼尾 成晴ゼミ | 代謝から運動効果を探求する



私たちのゼミでは、身体に及ぼす運動効果の機序について、主に代謝の観点から研究しています。呼吸や血液から得られる代謝情報を利用しながら、運動中の代謝応答を観察します。最近では、脂肪細胞から分泌される代謝産物に着目して研究を進めています。ゼミ活動では、代謝に関する基本的な知識の習得に加え、論文の講読を進めます。それらを通して、自分の興味関心に基づき、卒業研究の課題を各自で設定し、研究計画の立案に繋がります。運動の効果は幅広いため、様々な観点から運動の意義を考えることができるのが私たちのゼミの特徴です。

山田 大詩さん

YAMADA Taishi

■推薦入試
■出身校：長崎県立諫早高等学校

私は、陸上競技選手の代謝や走パフォーマンスに関して深く学び研究するために当ゼミに入りました。現在は、本学の陸上競技部の協力のもと、血液検査値を基にした代謝データと走パフォーマンスの関連を研究しています。当ゼミでの研究・活動を通して、効率の良い練習方法だけでなく、オーバーワーク、貧血、体の成長など指導者にとって理解しておくべき大切な視点を科学的に学び、将来、指導現場で生かしていきたいと思っています。



スポーツ人文・応用社会科学系 関 朋昭ゼミ | 新しい自分を見つける。自分の魅力を引き出せ！！

私たちのゼミでは、幅広い文献や書籍等に触れ、これまでになかった興味・関心を持つことができます。ゼミ内の課題発表では、積極的に発言することを大事にしていて、もし間違っていたとしてもそれは正解へのプロセスであり、次に頑張ろうと思えるような明るい雰囲気が常に保たれています。一人一人興味・関心を持つ点が異なり、正解が限られないものばかりであるため、様々な発見ができるのが当ゼミの特徴の一つです。各々の興味・関心に沿った研究ができ、自分にしか考えられないような型破りな研究テーマを掲げたりできるユーモアあふれたゼミとなっています。



高山 健人さん

TAKAYAMA Kento

■一般入試
■出身校：宮城県立日南高等学校

私は新しい自分を見つけるためにこのゼミを選びました。読書に縁もゆかりもない生活をしてきた中、本を読む機会や様々な文献を扱うこのゼミに入れば新しい自分が見つかるのではないかと考えました。また、課題発表などで培われる積極性や発言力はこれから社会に出ても役に立つものです。その中で「失敗を恐れない」といったことも一つの能力として伸ばしていきたいと思っています。



大学院

大学院体育学研究科の目的

鹿屋体育大学大学院体育学研究科は、スポーツ・健康に関する学術の理論及び応用と実践が一体となった教育研究を展開し、その深奥をきわめ、または高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した学力を培い、スポーツ文化の進展及び国民の健康増進に寄与することを目的としています。

体育学専攻

■ 修士課程

スポーツや身体運動を通して、国民が健康で幸福を享受できる社会の構築に貢献する専門的・実践的な能力の養成及び職業人として中核的な役割を担う人材の育成を目指しています。

■ 博士後期課程

体育学に関する最先端の研究活動を推進するとともに、スポーツや身体運動を通して、国民が健康で幸福を享受できる社会の構築に貢献する高度な専門的能力を有する人材の育成を目指しています。

■ 体育学・スポーツ科学連携大学院教育プログラム

本プログラムは、鹿屋体育大学大学院体育学研究科体育学専攻を中心として、複数の大学が連携・協力して教育・研究指導を行うプログラムです。

連携校

熊本大学大学院教育学研究科（修士課程・博士後期課程）
宮崎大学大学院教育学研究科（修士課程・博士後期課程）
鹿児島大学大学院教育学研究科（博士後期課程）

修士課程2年（体育学専攻）

三宅 麟太郎

MIYAKE Rintaro

■出身校：鹿屋体育大学体育学部

恵まれた環境

私は、スポーツ場面における身体動作とパフォーマンスの関係を力学的に解析する「スポーツバイオメカニクス」の研究をしています。本学は競技レベルの高い学生が多く在籍し、SPORTEC スポーツパフォーマンス研究センターやスポーツトレーニング教育研究センターなどの施設もあります。そのため、様々な分野に共通して、データを取得しやすい恵まれた環境であると思います。また、学生の人数も少人数で先生方との距離も近いので、自身の能力を伸ばしやすい環境であると思います。



国立スポーツ科学センター（JISS）との連携大学院（博士後期課程）

国立スポーツ科学センターを主な勉学の間として、同センターの特色を生かした授業科目の履修及び研究指導を受け、鹿屋体育大学大学院の博士（体育学）の学位取得を目指すものです。



大学院生からのメッセージ



筑波大学との共同専攻

スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程）

スポーツというツールを用いて、国内外で生じている課題の解決に貢献できる人材の育成を目指す修士課程です。本学と筑波大学・日本スポーツ振興センターの3機関が共同して、スポーツを通じた国際開発と平和に関する実践的能力を養う教育プログラムを提供します。



大学体育スポーツ高度化共同専攻（3年制博士課程）

大学体育スポーツの充実のために、教育指導と研究の循環を高度に展開できる能力育成を軸とした教育指向型の博士課程です。本専攻は筑波大学と本学との共同設置で運営しています。各大学の専門性・独自性を最大限に生かしながら、現職教員の方にも可能な限り無理なく受講ができるように、遠隔講義システムや週末・長期休業を利用するなど、カリキュラムが工夫されています。



課外活動

Extracurricular Activities

本学には、現在、22の体育系課外活動団体があり、ほとんどの学生が加入しています。特に、多くの体育系課外活動団体では、全国規模の大会で優秀な成績を収めるなど、活発な活動を展開しております。課外活動は、学生が自主的に行う活動であり、社会の一員として必要な資質を身に付けたり、教養を高めるなどの大切な役割を担っています。また、課外活動を通じて得られるさまざまな体験は、学生生活をより充実させ、一生忘れることのできないすばらしい思い出にもなります。したがって、学生が各自の関心と適性にあった課外活動団体に所属し、より高い専門的知識や技能を身に付けるために積極的に活動することをお勧めします。



陸上競技部

部員：108名



硬式野球部

部員：81名





テニス部

部員：26名



男子バレーボール部

部員：8名



女子バレーボール部

部員：22名



男子バスケットボール部

部員：22名





女子バスケットボール部
部員：31名



サッカー部
部員：87名



ラグビー部
部員：2名



体操競技部
部員：28名





水泳部

部員：42名



剣道部

部員：129名



ヨット部

部員：12名



柔道部

部員：70名





漕艇部

部員：6名



カヌー部

部員：26名



自転車競技部

部員：25名



なぎなた部

部員：9名





セパタクロー部

部員：3名



ゴルフ部

部員：1名



ウインドサーフィン部

部員：4名



ダンス部

部員：4名



4

- 新入生オリエンテーション
- 入学式
- 新入生歓迎会
- 前期授業開始
- 競技力向上の会



5

- 体育会定例総会



校内は桜が満開になりました！

6



やっと昼食！今日はグラウンドで手作り弁当です！

7

- オープンキャンパス
- 交通安全・防犯講習会
- 学期末試験



七夕の準備もできました！

9

- 大学院共同専攻入試



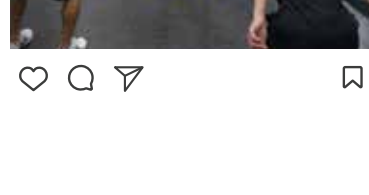
仲良い4人組！

Campus Calendar

キャンパスカレンダー



みんなとミーティング中です。



夕暮れがとてもキレイでした！



地元の子供達にカッコイイところを披露しました！



卒業おめでとう！



みんなで初詣に行ってきました！



恒例行事の「蒼天祭」。すごく白熱しました！



みんなでクリスマスプレゼントを交換！



- 開学記念日
- 後期授業開始
- 総合型選抜（SS）入試第2次選考
- オープンキャンパス
- 大学院体育学専攻入試

10

- 健康セミナー
- 学校推薦型選抜・特別選抜
- 学園祭「蒼天祭」
- オープンキャンパス

11

- 体育会定例総会

12

- 大学入学共通テスト
- オープンキャンパス

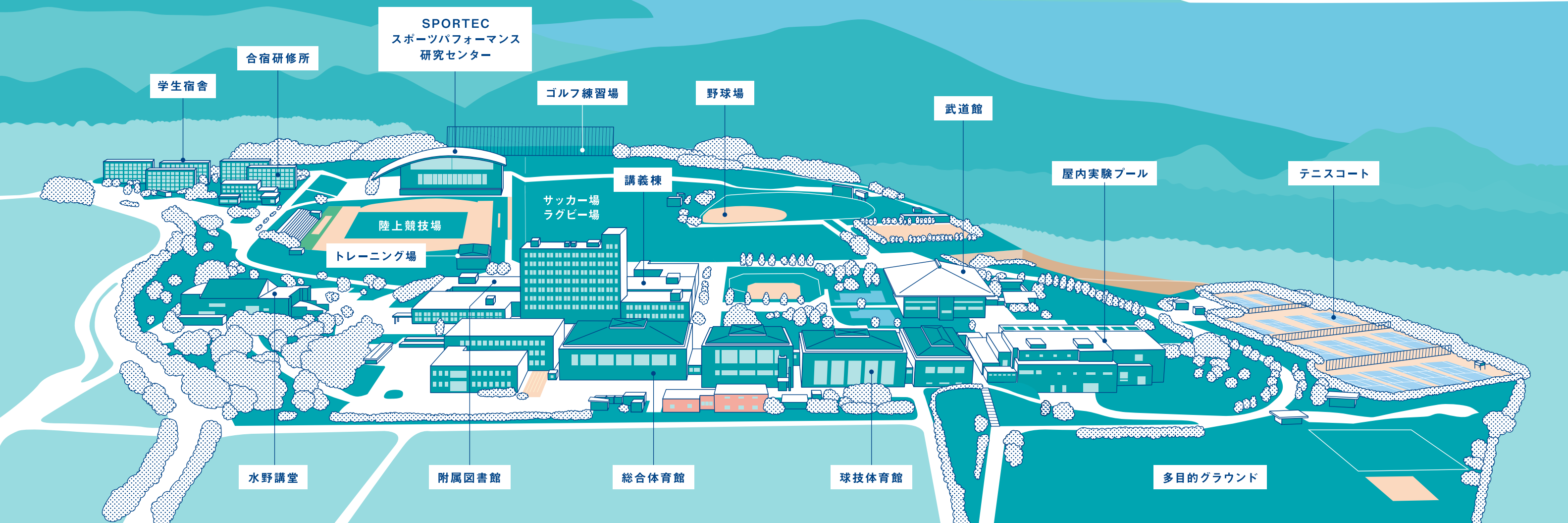
1

- 学期末試験
- 競技成績報告会
- 学生リーダーズセミナー
- 一般選抜・私費外国人留学生入試

2

- 卒業証書授与式
- 学位記授与式

3



SPORTECスポーツパフォーマンス研究センター

SPORTECスポーツパフォーマンス研究センターは、国内初の最先端スポーツ科学研究設備を備えた学内共同教育研究施設です。スポーツ現場のコツやカンといった「実践知」を科学的エビデンスとして創出・還元するスポーツパフォーマンス研究を推進するため2018年に設置されました。屋内スポーツ実験室には主要設備として、世界最長の50mフォースプレート、フォースプレート一体型マウンドおよびバッターボックス、モーションキャプチャシステム、オブジェクトトラッキングシステム、ハイスピードカメラ、球質測定システム等の最新の測定機器に加え、可動式カメラ架台、大型モニター 2台が設置されています。スポーツ実験室は約3,500㎡(70m×50m)の広さで、高さ15m、床は人工芝と陸上用のウレタン走路(屋内70m、屋外40mの最長110m)で構成されており、屋外(屋根付き)にはテニスコートが一面併設されています。施設内では、陸上、テニス等の個人種目に限らず野球やサッカー等のチーム種目におけるゲームパフォーマンス分析など多様なスポーツパフォーマンス測定を実施することが可能です。本学初のネーミングライツ施設です。

施設紹介

Campus and Facilities



附属図書館

附属図書館では、教育研究活動に必要な専門図書や一般教養図書のほか、体育・スポーツ、レクリエーションや武道分野の雑誌、映像資料等DVDも数多く所蔵しています。電子ジャーナル、英文多誌に最適な電子図書も利用できます。また、グループ学習室、NIFSラコモもあり、タブレットPCを使ったグループディスカッションなど学生の自学自習の場としても活用できます。



屋内実験プール

単に水泳競技用だけでなく、「泳ぎ」について運動力学、運動生理学的見地から科学的に教育研究活動が行えるよう最新鋭の機器を備えた施設です。1階は、50m×8レーン(25m×8レーンに変更可能)、水深2.0m～4.0m、高飛び込み5m、実験研究用コース(スイミミラー、ペースメーカー等の実験用器材を設置)、水泳のフォームをあらゆる角度から分析できる減圧調整可能流水プール、データ解析室等の設備を備えています。2階はミーティングルームのほか、上部からもビデオ撮影及び見学ができるキャットウォークも設置されています。水温は適温に調整され、薬剤注入や滅菌が自動的にできる循環濾過装置も設置されています。



剣道場



柔道場



陸上競技場

海洋スポーツセンター

海洋スポーツに関する実践的指導者の養成、競技力向上(ヨット、ウインドサーフィン、カヌースプリント、ボート等)、生涯スポーツ(セーリング、SUP、シーカヤック、スキンドайビング、機遊び等)の展開といった事業のもと、理論教育・実践指導・研究活動に取り組んでいます。また、公開講座の開催や関連団体のセンター活用など、施設開放も実施し、学外の海洋スポーツ関係者・団体との交流・研修も行っています。海洋スポーツ各事業・活動・研究成果などの情報を学内外に発信することによって、幅広く海洋スポーツの普及・振興に努めています。



学生宿舎紹介

学生宿舎は、大学敷地の一角に位置し、1棟70名収容の建物5棟設けています。部屋はすべて個室（約6畳）で、収容人員は350名（男子280名、女子70名）、現在、在学生全体の約4割の学生が入居しています。棟内は、居室のほか、各階に共用施設として補食談話室、洗面、洗濯室、浴室、トイレ等があります。

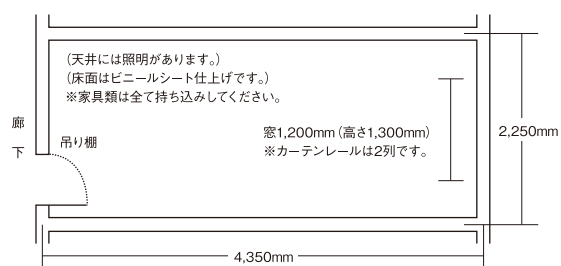
寄宿料等は、1カ月当たり17,800円（寄宿料4,300円、運営費8,500円、居室電気料5,000円）です。規則正しい生活を送ることができるように、学部1年生から3年生については学生食堂での朝食摂取を入居の条件としています。

朝食代：年額84,000円（令和5年度）、年度当初に前納（理由がある場合は、事前の欠食届提出により返金）

寝具類（掛・敷布団、毛布、枕、シーツ及びカバー）は、衛生管理面を配慮して入居者全員分を大学指定の業者からリースしています。消耗品（トイレトーパー、指定ゴミ袋、ゴミ袋、食器用スポンジ・洗剤、居室用蛍光灯）は入居者から徴収している運営費で購入しており、管理人室で払い出します。



居室は、すべて個室（洋室）になっています。広さは約10㎡（長方形で約6畳）です。



学生宿舎Q&A

Q. 入居選抜方法について

新生入生においては、(1) 学生宿舎生活の支障の有無、(2) 自宅から大学までの距離及び交通手段、(3) 家庭状況及び経済状況、について勘案して選考を行います。加えて2年生からは、各種宿舎行事への出席状況や、日頃の生活態度なども審査対象になります。学生宿舎の入居許可期間は1年間（4月～翌年3月）ですので、入居後も毎年度選考を行います。

Q. 自動車の乗り入れについて

学生宿舎には約150台分の入居者用駐車場があります。駐車場の利用は許可制ですので、学生宿舎管理人室で駐車場の空き状況を確認し、申請書類を提出することで利用できます。なお、利用できるのは原則学部2年生以上で、学生宿舎から大学へ自動車で通学することはできません（大学と隣接しているため、徒歩で通学可能です）。

Q. 周辺アパートについて

大学周辺には学生向けアパート等が点在しており、家賃は、地域、部屋の設備等により異なりますが、6～8畳のキッチン、バス、トイレ付きで、25,000円～40,000円程度です。大学から5kmほど離れた西原地区は、家賃相場が多少上がりますが、スーパー、コンビニ等が大学周辺より多く生活至便です。

学生宿舎利用者

新垣 亜友里

スポーツ総合課程 3年

徒歩 5分

Q1：寮の良さは何ですか？

同じフロアの学生と仲良くなれるので、課外活動以外での交友関係を築くことができます。

Q2：学生生活の楽しみは？

競技も出身地も異なる多様な人たちから、自身もいい刺激をもらえます。授業や課題に追われるのもとてもいい経験だし、授業が入っていない日や長期休暇にゆっくり自分に時間を使えるのもとてもいい経験になっていると思います。

Q3：お気に入りの場所やお店を教えてください

学内のトレーニング場！体を鍛えると夜に気持ちよく就寝することができます！

Q4：休みの日は何をしていますか？

鹿屋はごはんがおいしいお店がたくさんあるので、パン屋さんやランチを開拓しています。お昼までゆっくり寝て、買い出しに行ったら平日分の食事の作り置きを作ったりしています。



1カ月の生活費

家賃（寮費）	17,800円
食費	15,000円
日用品	5,000円
娯楽費	10,000円
交通費	3,000円

計..... 約50,000円

1日の流れ

8:00	起床
8:30	朝食
	授業
11:40	昼食
12:40	授業
16:00	課題 昼寝 バイトの準備
18:00	アルバイト
23:30	帰宅
25:00	就寝



アパート・マンション利用者

児島 兼聖

武道課程 3年

車 約5分

Q1：アパートの良さは何ですか？

自分の時間を大切にできる。
自炊や入浴も好きな時間に入ることができる。

Q2：学生生活の楽しみは？

自分の将来のためになることを真剣に取り組める。
（勉強、課外活動）多くの友達ができる。

Q3：お気に入りの場所やお店を教えてください。

三太郎ラーメン
すごくおいしい醤油ラーメンを食べることができます！

Q4：休みの日は何をしていますか？

自主稽古に行く、友達と遊びに行く、映画を見る。



1カ月の生活費

家賃	30,500円
光熱水費	5,000円
交通費	10,000円
日用品	3,000円
食費	30,000円

計..... 約78,500円

1日の流れ

7:30	起床、1限準備
8:30	
	授業
11:40	昼食
12:40	授業
16:00	稽古
18:30	
19:30	バイト
22:00	帰宅、入浴
24:00	就寝



キャンパス内には、学生・教職員の健康の保持・増進を図るための施設として「保健管理センター」があるほか、福利厚生に資するため食堂、売店、理・美容室、ATMなどがあります。

また、学生の憩いの場として「学生ラウンジ」を設け、学生相互のコミュニケーション等に利用されています。



保健管理センター

保健管理センターは、学生及び教職員の保健管理に関する専門的業務を行い、心身の健康の保持増進を図るための施設です。ここでは、医師及び保健師が在室し、学内で発生したケガ等に対する応急処置、健康及び精神衛生に関する相談・助言並びに保健指導のほか、定期健康診断等も行っています。また、リハビリテーションに必要な機器も備えてあり、リハビリを行うこともできるほか、心理カウンセリングを受けることもできます。



学生食堂

食堂は明るく開放感があり、多くの学生が利用します。朝食はバイキング方式で朝練後の学生や授業に向かう学生でにぎわいます。また、昼食はアラカルト方式になっており、お好みのメニューを選ぶことができます。このほか、ランチバイキングやカレーフェアといったイベントも企画しています。



学生ラウンジ



売店



理・美容室



ATM



合宿研修所



ロッカー室

学 費

入学科等 (令和5年度)

区 分		金 額	納 入 時 期
入学科		282,000円	入 学 手 続 時
授業料	前 期	267,900円	5月下旬
	後 期	267,900円	10月下旬
その他経費(各種保険料等)		80,660円	入 学 手 続 時

学費の免除

1.高等教育の修学支援新制度

令和2年度から、住民税非課税世帯またはそれに準ずる世帯の学生向けに、授業料・入学科の減免に、給付型奨学金の支給をセットにした新制度が開始されました。申込については、高等学校等での予約採用のほか、入学後の在学採用によっても申し込むことができます(新制度の非対象者や大学院生には、大学独自の入学科免除・授業料免除制度があります)。

2.入学科特別免除

入学前の競技成績(大学院の入試成績)の特に優れた者に対し実施します。SS入学者は全員、学校推薦型選抜入学者は競技成績により選考(申請不要)。

3.授業料特別免除

在学中の競技成績又は学業成績の特に優れた者に対し実施します。

傷害保険

教育研究活動中の不慮の災害事故の補償や、課外活動中・往復中の事故の補償のほか、他人への賠償等のために、次のような各種傷害保険を準備しています。

学生教育研究災害傷害保険	保険料：3,300円(4年間) 1,750円(2年間)
学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険	保険料：1,360円(4年間) 680円(2年間)
学生が体育実技や実験実習等の正課の授業中、学校行事、課外活動中等、教育研究活動中の事故や通学中等の事故によって被った傷害に対して、補償する制度。本学では、学生が安心して学業に励むことができるように入学期に全員加入していただいています。	
スポーツ安全保険	保険料：7,400円(4年間) 3,700円(2年間)
課外活動団体等でスポーツ活動、指導活動等を行う者がその活動中や往復中に生じた事故によって傷害を被った場合や他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして損害賠償責任を負った場合、補償する制度。本学では、学生が安心して課外活動ができるように入学期に全員加入していただいています。	
学生総合補償プラン	保険料(4年間) 一人暮らしA__57,870円 自宅学生D__49,860円 一人暮らしB__50,070円 自宅学生E__42,060円 一人暮らしC__44,930円 自宅学生F__36,920円
学研災付帯学生生活総合保険	保険料(4年間) 自宅A__56,610円 一人暮らしD__64,190円 自宅B__41,220円 一人暮らしE__48,800円 自宅C__36,790円 一人暮らしF__44,370円
教育研究活動中のみならず日常生活で生じたさまざまな事故に対して、総合補償する制度。損害賠償制度や学費・育英費用にも対応しており、加入は、任意となっています。	

※令和5年4月現在

経済支援

鹿屋体育大学修学支援基金

寄付金及びその運用により構成される「鹿屋体育大学修学支援基金」を創設し、経済的理由により修学が困難な学生の支援を行っています。

- ① 授業料、入学科又は寄宿料の全部又は一部を免除する事業
- ② 学資金を支給する事業
- ③ 学生の留学に係る費用を負担する事業等

特別奨学金(本学独自の奨学金)

学資負担者の死亡・失職等の理由により、経済的に著しく困窮し、かつ修学態度が良好である学生に対して、「特別奨学金(20万円)」を給付します。

日本学生支援機構

① 給付奨学金

高等教育の修学支援新制度のひとつとして、人物・学業ともに優れ、経済的な理由により著しく就学困難と認められる者に給付される、返還の必要のない奨学金です。

② 貸与奨学金(第一種：無利子、第二種：有利子)

人物・学業ともに優れ、経済的な理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。

③ 入学時特別増額貸与奨学金(有利子)

日本政策金融公庫の教育ローンを低所得を理由に受けられなかった世帯向け。人的保証制度に代わる機関保証制度により、保証人がいない場合でも一定の保証料を支払うことにより奨学金を貸与されることがあります。

鹿屋体育大学 日本学生支援機構奨学生数一覧

学 部							
	学生数 a	一種	二種	併用 (一種+二種) 内数	貸与 人数 b	貸与 比率 b/a	給付 奨学金 受給者
4年生	195	50	55	12	93	48%	27
3年生	195	47	58	19	86	44%	28
2年生	181	46	51	13	84	46%	24
1年生	184	55	42	15	82	45%	28
合計	755	198	206	59	345	46%	107
大 学 院							
	学生数 c	一種	二種	併用 (一種+二種) 内数	貸与 人数 d	貸与 比率 d/c	
3年生	17	4	0	0	4	24%	
2年生	27	5	1	1	5	19%	
1年生	24	7	1	1	7	29%	
合計	68	16	2	2	16	24%	

注) 地方公共団体や民間の育英奨学事業団体等の奨学金もあります。



キャリア形成支援センター

キャリア形成支援センターは、就職やキャリア形成について学生の皆さんをサポートするためのセンターで、以下の設備等を備えており、学年に関係なくだれでも利用できます。

- ☐ 就職相談室（日替りで3名の就職相談員を配置）
- ☐ 求人資料、各種就職専門書・専門雑誌、資格試験雑誌等
- ☐ 貸出用就職関係図書



教員対策・公務員対策

模擬試験を年数回実施しています。また、希望者に対しては、模擬面接も随時実施しています。

就職ガイダンス

その時々各学年に応じた多くの就職情報を提供しています。

就職塾

年数回、休日を利用して外部講師を招いて「就職塾」を開講しています。この企画では、職業選択や自己分析についてアドバイスいただくとともに、履歴書の書き方や面接の心構えについても指導してもらえます。

学内企業説明会

学内にて企業の採用担当者による企業説明会を開催しています。

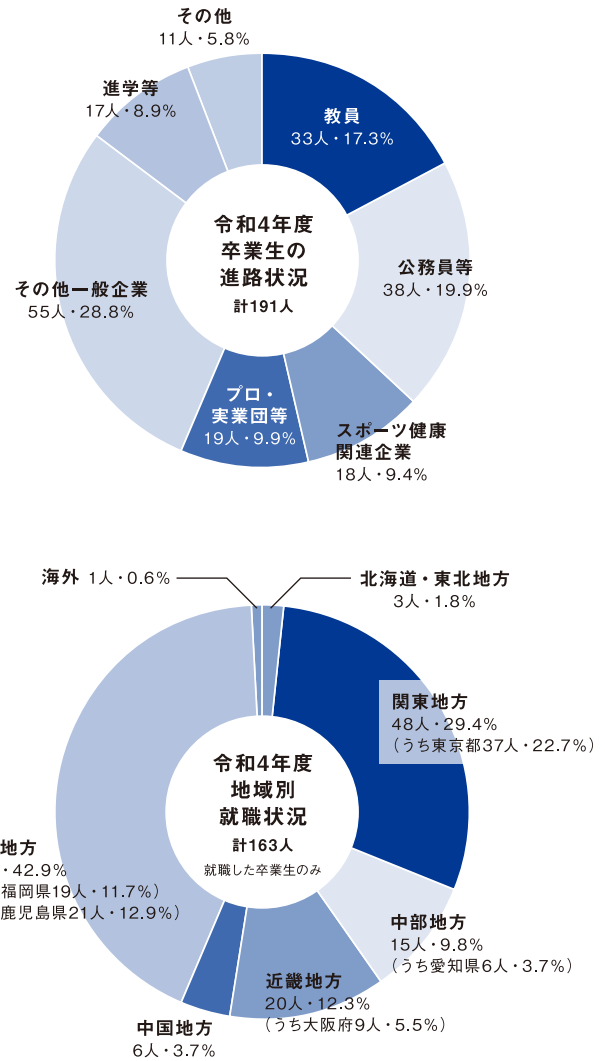
合同企業説明会

年1～2回福岡市で開催される合同企業説明会に、借り上げバスを利用して「日帰りバスツアー」を行います。

就職支援事業等（主なもの）

1 年次	☐ キャリアデザインⅠ ☐ キャリアデザインⅡ ☐ 就職ガイダンス ☐ 教員採用・公務員模擬試験
2 年次	☐ キャリアデザインⅢ ☐ 企業実習 ☐ インターンシップ ☐ 就職ガイダンス ☐ 就職塾 ☐ 教員採用・公務員模擬試験
3 年次	☐ キャリアセミナー ☐ キャリアコミュニケーション ☐ キャリア対策セミナー ☐ 企業実習 ☐ インターンシップ ☐ 学内企業説明会 ☐ 学外合同企業説明会 ☐ 就職ガイダンス ☐ 就活スタートアップ講座 ☐ 自己分析・自己PR作成講座 ☐ 業界・企業研究セミナー ☐ SPI対策講座 ☐ 面接・グループディスカッション対策講座 ☐ 就職塾 ☐ 教員採用・公務員模擬試験
4 年次	☐ 教員採用・公務員模擬試験 ☐ 教員採用試験直前対策 ☐ 教育実習 ☐ 模擬面接 ☐ エントリーシート・履歴書の添削

就職実績



主要就職先

過去3年間の主な就職先・進路先<令和2年度卒～令和4年度卒>
（敬称略・順不同）

教員（臨時的任用教員・非常勤講師を含む）

東京都、茨城県、愛知県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県 ほか20府県

公務員等

【警察官】警視庁、神奈川県警、富山県警、大阪府警、兵庫県警、福岡県警、佐賀県警、長崎県警、宮崎県警、鹿児島県警 ほか9府県 【刑務官】東京拘置所、大阪拘置所、京都刑務所、和歌山刑務所、京都刑務所、広島刑務所、福岡刑務所、北九州医療刑務所、佐賀少年刑務所、長崎刑務所、熊本刑務所、宮崎刑務所 【消防士】東京消防庁、奈良県広域、千歳市、福井市、名古屋市、堺市、新居浜市、北九州市、直方市、垂水市、大隅肝属地区 ほか5自治体 【行政職】鹿児島県、山口県、姫路市、佐賀市、鹿児島市、鹿屋市、指宿市 ほか10自治体 【その他】鹿屋体育大学、鹿児島県スポーツ協会、佐賀県スポーツ協会、福岡県立スポーツ科学情報センター ほか7自治体

スポーツ健康関連企業

ミズノ、ニッキー、ゴールドウィン、アルペン、ラコスデジャパン、セントラルスポーツ、五井病院メディカルフィットネスREBODY、トミオカ体操スクール、THINKフィットネス、ベネッセスタイルケア、RIZAP、太陽スポーツクラブ、軽井沢高原ゴルフ倶楽部、松波総合病院、イトマンスイミングスクール、スポーツコミュニティ、LAVA international、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅、EF Education-NIPPO Development Team ほか約30社

プロ・実業団等の選手

【サッカー】ロアッソ熊本、鹿児島ユナイテッドFC、湘南ベルマーレ、栃木SC、大分トリニータ、アスルクラロ沼津 ほか 【バレーボール】NECレッドロケッツ、デンソーエアリービーズ、JTマーベラス、SAGA久光スプリングス、プレステージ・インターナショナルアランマーレ、マックスバリュ・ビクトリーナ姫路、ヴォレアス北海道 ほか 【バスケットボール】新潟アルビレックスBBラビッツ、ライジングゼファー福岡 【自転車】Ciel Blue鹿屋、シマンレーシングチーム、ヴィクトワール広島、日本競輪選手養成所 【陸上競技】田子重、マツダ、エディオン、キャノンアスリートクラブ九州、長谷川体育施設 【体操競技】徳洲会体操クラブ、相好体操クラブ 【硬式野球】富良野ブルーリッジ、火の国サラマンドーズ、エイジェック、日本製鉄室蘭シャークス、大福ロジスティクス、高知ファイティングドッグス、西部ガス 【柔道】ALSOK福岡、日本エースサポート、戸高鉱業社 【剣道】パナソニック、上地自動車学校 【プロレス】新日本プロレス

その他の一般企業

SMK、リコージャパン、オージーケーカブト、積水ハウス、丸菱ホールディングス、フマキラー、ローソン、アサヒ鐵鋼販売、西原商会、エディオン、トヨタカローラ鹿児島、コカ・コーラボトラーズジャパン、ビッグモーター、中部電力パワーグリッド、住友不動産販売、みずほ証券、静岡銀行、岡三証券、鹿児島銀行、JA全農いばらき、北海道新聞社、TOSテレビ大分、レバレージズ、日本郵政、ウィルグループ、アイ・ケイ・ケイ、オープンハウス、一条工務店、パナソニックホームズ不動産、イオンビッグ、西日本電信電話、東芝テック、西日本映像、福岡トヨペット、レッドバロン、ソニー損保 ほか約140社

進学

鹿屋体育大学大学院、筑波大学大学院、和歌山大学大学院、兵庫教育大学大学院、神戸大学大学院、奈良教育大学教職大学院、大阪大学大学院、広島大学大学院、熊本大学教職大学院 ほか

武道課程の就職率※

5年連続
100%達成

※就職率は就職を希望する者に対する就職者の割合

就職活動体験談

限りある時間の中で

今までスポーツで培った身体を活かしながら、人を助けることができる消防士になろうと決めたのは大学3年生の夏でした。筆記試験は自分で学習を進めました。面接練習はどうしたら良いかわからず、就職相談員に相談に行きました。過去の質問や就職相談員の豊富な経験を生かし、さまざまな対策方法を教えてくださり、無事合格することができました。面接対策だけでなく、進路で迷っている方もぜひ相談に行ってみてください。自分の視野がとても広がります。大学生は人生の夏休みとよくいわれます。時間は有限なので、1日1日を大切にしながら楽しい大学生活を送ってください！

尾 湊 和 希

OGATA Waki

令和5年3月卒業
出身校：山口県立西京高等学校
就職先：北九州市消防局



Messages From Graduates

卒業生からのメッセージ

自分自身を 高め続ける4年間

鹿屋で過ごした4年間は、ひたすらに自身の成長を追い求め続けた4年間でした。競技においては「地方から全国へ」をスローガンに掲げて、高校時代に達成出来なかった日本一を目標に日々の自己研鑽に努めてきました。時には辛く苦しい時間もありましたが、そんな時に先生やチームメイトや地域の方々に支えられて、そのおかげで目標であった日本一を達成することができました。

鹿屋で過ごした4年間は、間違いなく私にとって最も価値のある4年間でした。みなさんも、かけがえのない仲間と最高の4年間で鹿屋で過ごしてください。

日本エースサポート

福田 大悟 FUKUDA Daigo

令和4年3月卒業 武道課程
比叡山高等学校・兵庫県

成長できる環境

体育教員か市役所職員になりたい、陸上競技も続けたいという思いがあり、鹿屋体育大学に入学を決めました。トップアスリートが集まる環境があるため、お互い刺激し合いながら競技に打ち込めますし、自分にはない考え方や学びを経験できました。競技で上を目指しながら、自分の就きたい職業に就けたのも鹿屋体育大学ならではの環境があるからだと思います。大学4年間はとても濃い毎日で、その経験が今職場で生かされているなど実感しているところです。みなさんもぜひ、なりたい夢に向かって頑張ってください！

日置市役所

久田 ちひろ HISADA Chihiro

スポーツ総合課程 令和4年3月卒業
神村学園・鹿児島県

本気になれる場所

4年間剣道部にて、真剣に競技に打ち込みました。日々、稽古をするだけでなく剣道に関する専門的な授業や、剣道を通じて地域の人々に関わる活動などがあり、高度で専門的な技能や幅広い知識を身に付けることができました。また、鹿屋体育大学は緑豊かな自然に囲まれており、勉強・競技を行う上でこれ以上ない素晴らしい環境であることも強みです。

4年間という期間は長いように思えて本気になればなるほど、あっという間に終わってしまいます。希望を持って夢に向かって頑張ってください。

学校法人清風学園清風中・高等学校

寺地 亮 TERACHI Ryo

令和4年3月卒業 武道課程
学校法人清風学園清風高等学校・大阪府

私にとって 縁と学びのある場所

テニスを頑張りたい一心で、高校、大学と鹿児島県の学校に進学しました。そして今でも縁の繋がった鹿児島県で銀行員として働きながら、大好きなテニス競技を続けています。

鹿屋体育大学では文武両道の大切さを学び、資格取得試験が多い現在に役立っています。

この大学には競技に打ち込める素晴らしい環境で整った施設もあり、熱心な先生方、苦楽を共にできる仲間との出会いが待っています。

皆さんそれぞれの縁が将来へと繋がるよう、応援しています。

鹿児島銀行

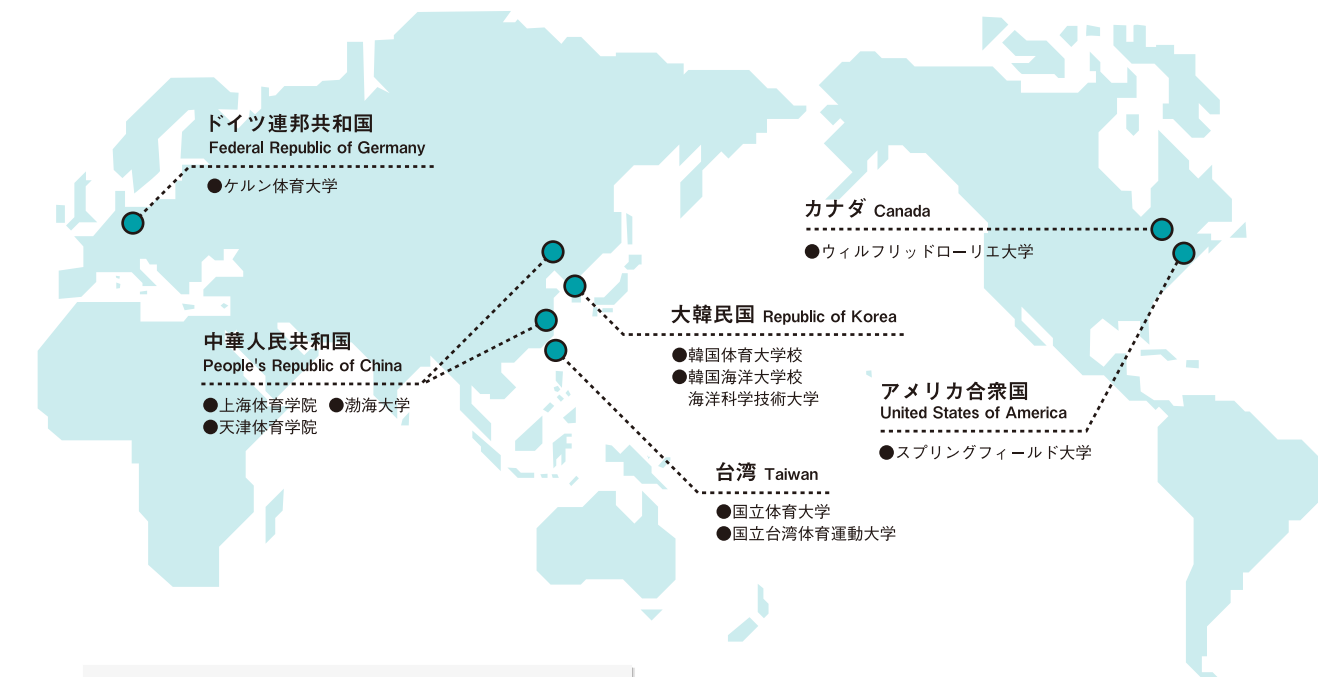
岡崎 亜美 OKAZAKI Ami

令和4年3月卒業 スポーツ総合課程
鳳凰高等学校・鹿児島県

本学は、下の地図に示されている 6 カ国・地域の10大学と大学間交流協定を結んでいます。このうち、上海体育学院（中国）、韓国体育大学校（韓国）、国立体育大学（台湾）、天津体育学院（中国）の4大学とは学生交流（交換留学）を行っています。交換留学生は学内選考を経て決定されます。留学期間は1年以内で、1大学当たり2名までを派遣しています。

交換留学においては、協定校で取得した単位を本学の単位として認定するための単位認定制度があります（ただし、協定校で取得した単位すべてが必ずしも本学の単位として認定されるわけではありません）。

この他、海外短期研修として、Hawaii（アメリカ）やSydney及びWollongong（オーストラリア）に2週間程度滞在（ホームステイ）し、現地の大学院生チューターによる英語特訓の後に現地の総合スポーツジムでインターンシップを体験するプログラムがあります。



留学生とポッチャをしよう！

国際交流の取組紹介

令和4年12月6日に外国人留学生と日本人学生の交流イベント「留学生とポッチャをしよう！」を実施しました。イベントでは、まず留学生による出身地紹介が行われ、写真を交えて出身地の魅力を発表しました。その後、パラリンピックの競技でもあるポッチャをチーム戦で行いました。参加者全員がポッチャ初心者でしたが、すぐに感覚をつかみ、精度の高いスローイングが繰り返されました。また、チーム内でどの球を次に狙うか作戦を練り、より良い投げ方を共有するなど参加者同士の活発なコミュニケーションがみられ、競技としても大変盛り上がるイベントとなりました。

外国人留学生在籍状況（令和5年5月1日現在） 単位：人

国・地域	学生区分別内訳					計
	大学 院生	学部 学生	特別聴講 学生	研究生	科目等 履修生・聴講生	
中国	5	2	2	0	0	9
台湾	1	0	0	0	0	1
計	6	2	2	0	0	10

※「特別聴講学生」は、交換留学制度により交流協定大学から本学へ留学している学生です。

大学間交流協定状況（令和5年5月1日現在）



留学生からのメッセージ

鹿屋体育大学に通って2年が経ちます。この2年間で、「日本語を話せない」ところから「週に一度公民館でスクエアステップの指導をする」まで、「シャイだった」ところから「日本のステージで踊る」まで、「毎日一人でした」ところから「日本の友達と一緒に遊ぶ」まで、専門の授業だけでなく、スポーツや文化、イベント、日本語の授業など、多彩なプログラムを通じて、日本の文化を体験することができ、たくさん成長することができました。鹿屋体育大学での留学は、スポーツや健康に関心がある学生にとっては特に魅力的な選択肢であると思います。

王 玉斌 WANG YUBIN

中国出身
課程・学年：大学院体育学研究科修士課程体育学専攻2年

留学生からのメッセージ

2022年4月に鹿屋体育大学に入学し、専門的なスポーツ科学の知識について学んでいます。スポーツの授業を通して、ラグビーや剣道の実技も身につけました。また、先生や学生たちがとても熱心で、たくさんの友達ができました。多くの人と関わる中で、日本の文化も学び、日本語もだんだん上達しています。学外の活動にも参加し、地域の子どもや学生たちと知り合えたことはとても楽しく良い経験となっています。

鹿屋体育大学で毎日充実した日々を過ごしています。もし、スポーツ科学が学びたいければ、ぜひ鹿屋体育大学を選んでください！

満 園 MAN YUAN

中国出身
課程・学年：体育学部スポーツ総合課程2年



入学者選抜実施結果

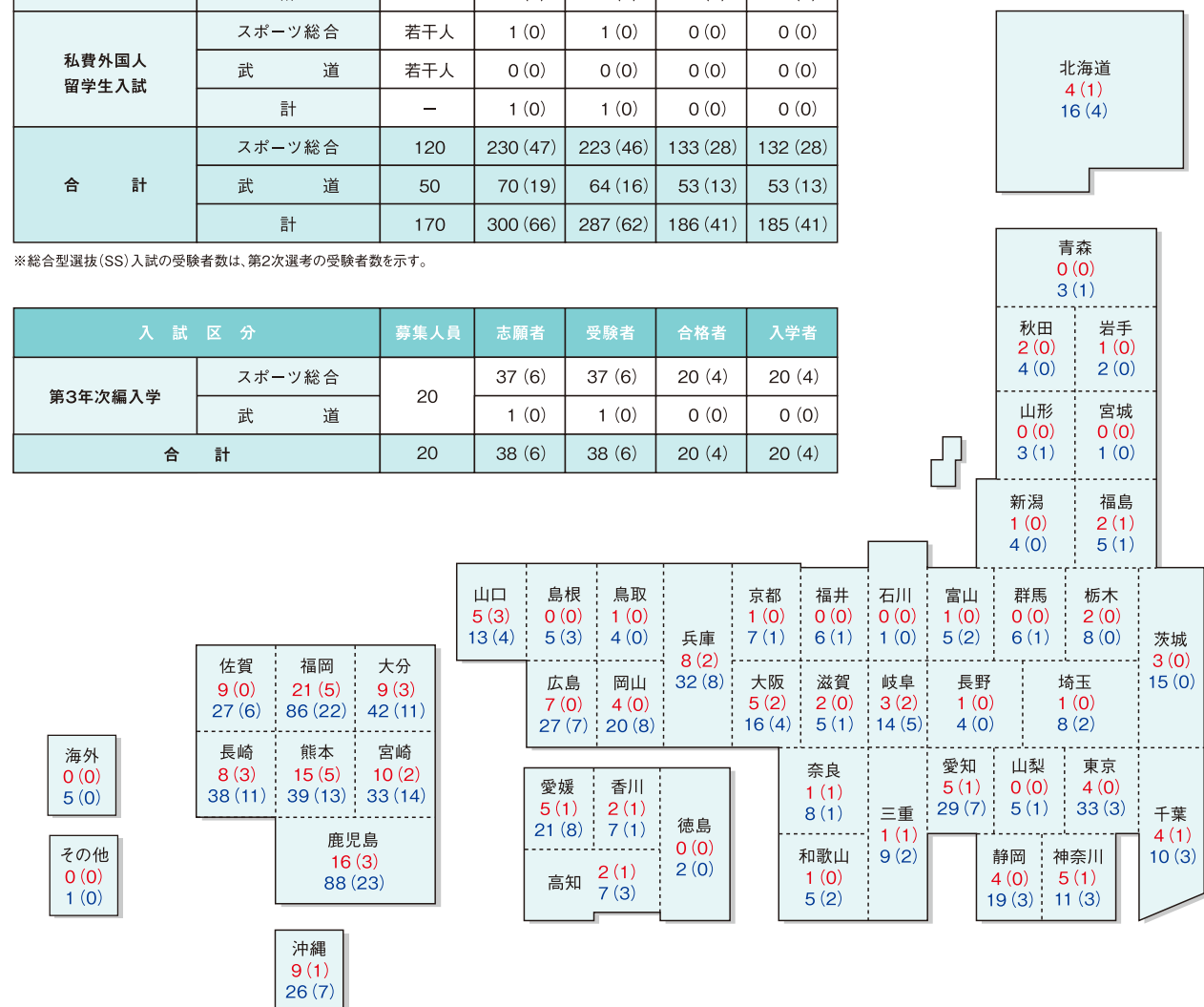
体育学部 ()は女子で内数

単位：名

入 試 区 分		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
総合型選抜 (SS)入試	スポーツ総合	10	9 (1)	※9 (1)	9 (1)	9 (1)
	武 道	5	3 (1)	※3 (1)	3 (1)	3 (1)
	計	15	12 (2)	※12 (2)	12 (2)	12 (2)
学校推薦型選抜	スポーツ総合	50	66 (20)	66 (20)	51 (16)	51 (16)
	武 道	20	28 (10)	28 (10)	22 (8)	22 (8)
	計	70	94 (30)	94 (30)	73 (24)	73 (24)
一般選抜	スポーツ総合	60	152 (26)	145 (25)	72 (11)	71 (11)
	武 道	25	38 (8)	32 (5)	27 (4)	27 (4)
	計	85	190 (34)	177 (30)	99 (15)	98 (15)
特別選抜 (帰国生徒)	スポーツ総合	若干人	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	武 道	若干人	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
特別選抜 (社会人)	スポーツ総合	若干人	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)
	武 道	若干人	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)
	計	—	3 (0)	3 (0)	2 (0)	2 (0)
私費外国人 留学生入試	スポーツ総合	若干人	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
	武 道	若干人	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	—	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計	スポーツ総合	120	230 (47)	223 (46)	133 (28)	132 (28)
	武 道	50	70 (19)	64 (16)	53 (13)	53 (13)
	計	170	300 (66)	287 (62)	186 (41)	185 (41)

※総合型選抜(SS)入試の受験者数は、第2次選考の受験者数を示す。

入 試 区 分		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
第3年次編入学	スポーツ総合	20	37 (6)	37 (6)	20 (4)	20 (4)
	武 道		1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計		20	38 (6)	38 (6)	20 (4)	20 (4)



令和5年度
出身地別入学者数
(出身高等学校等所在地による都道府県内訳)

合計 185 (41)
(第3年次編入学者は除く)
※()内は女子で内数

令和5年度
出身地別在学者数
(出身高等学校等所在地による都道府県内訳)

合計 779 (198)
(令和5年4月現在在籍者全員)
※()内は女子で内数

OPEN CAMPUS

－ オープンキャンパス －

■ 大学説明会 (対面型・オンライン型 同時開催)

第1回
[対面・オンライン] 令和5年 7月15日 (土) 13:00～16:00

第2回
[対面・オンライン] 令和5年 10月14日 (土) 13:00～16:00

第3回
[オンライン] 令和6年 1月21日 (日) 13:00～16:00

本学の特色や教育・研究の内容について理解を深めてもらうとともに、施設見学等により、進路選択の参考としてもらうために次のとおり実施します。受験生、保護者、高校の先生方など多数の参加をお待ちしています。

- ①大学の説明
- ②入試の説明
- ③在学生からのアドバイス
- ④キャンパスツアー (実習体験あり)
- ⑤個別相談
- ⑥学食体験



■ 体験授業

本学の教育・研究を少しでも知っていただくために、高校生受験希望者 (保護者を含む) を対象に次の通り体験授業を企画いたしました。多数の参加をお待ちしています。

実施日 | 令和5年 7月16日 (日)



■ 資料請求

募集要項等請求先

〒891-2393
鹿児島県鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学教務課入試係
TEL (0994) 46-4869



その他資料請求



テレメール
より資料請求



モバっちよ
より資料請求

大学ホームページ (受験生の皆様へ)

詳細については、本学ホームページをご覧ください。



鹿屋体育大学のホームページを開設しています。
学部・大学院の詳しい内容やキャンパスライフ、
入試情報などをお知らせします。





NIFS KANOYA TOPICS

昭和56年10月1日－鹿屋体育大学設置
昭和59年4月1日－学生受入れ
昭和60年4月1日－外国語教育センター設置
昭和62年4月1日－海洋スポーツセンター設置
昭和63年4月1日－大学院体育学研究科体育学専攻(修士課程)設置
昭和63年5月25日－保健管理センター設置
平成5年10月1日－開講10周年記念式典挙行(開学12周年、学生受入れ後10回目の開学記念日)
平成6年5月20日－スポーツトレーニング教育研究センター設置
平成10年12月1日－スポーツ情報センター設置
平成13年4月1日－生涯スポーツ実践センター設置
平成13年9月30日－開学20周年記念式典挙行
平成15年4月1日－アドミッションセンター設置
平成15年4月1日－3学期制から2学期制へ移行。
学部の7講座制から3系制に移行
平成16年4月1日－国立大学法人鹿屋体育大学設立
大学院体育学研究科体育学専攻(博士後期課程)設置
平成18年4月1日－体育・スポーツ課程をスポーツ総合課程に名称変更
平成19年4月1日－大学院体育学研究科(博士後期課程)の定員2名増
平成20年4月1日－体育学部第3年次編入学の定員10名増
平成21年8月1日－東京サテライトキャンパス開設
平成23年4月1日－外国語教育センターを国際交流センターに名称変更
平成23年9月24日－開学30周年記念式典挙行
平成27年3月－スポーツパフォーマンス研究棟竣工
平成28年4月1日－筑波大学との共同専攻設置
・スポーツ国際開発学共同専攻(修士課程)
・大学体育スポーツ高度化共同専攻(3年制博士課程)
平成30年4月1日－スポーツパフォーマンス研究センター設置
令和3年6月1日－キャリア形成支援センター設置
令和3年9月25日－開学40周年記念式典挙行
令和3年12月31日－東京サテライトキャンパス廃止
令和4年10月－鹿屋体育大学ビジョン「NIFS NEXT30」策定
令和5年1月1日－スポーツイノベーション推進機構設置
令和5年3月31日－3つのセンターの機能を推進機構の3部門へ移管
・スポーツトレーニング教育研究センター
↳[スポーツサイエンス部門]
・スポーツパフォーマンス研究センター
↳[スポーツパフォーマンス・コーチング部門]
・生涯スポーツ実践センター
↳[ヘルス・スポーツプロモーション部門]

スポーツイノベーション 推進機構を設立

令和5年1月1日付で、本学に「スポーツイノベーション推進機構」が設置されました。「アスリートの育成やさまざまなライフステージに合わせた体力・健康増進に関わるプロジェクトを行い、それらの研究・プロジェクトで得られた知見に基づいて、体育・スポーツ分野における運動実践の指導モデルを構築し、その成果を広く社会に還元するとともに、高度で良質な実践的指導者を育成するために本学の研究資源を統合し、先端的な研究の推進を図る」ことを目的としています。

今後、「科学的エビデンスに基づく実践指導者の育成」「日本人の体力向上、健康寿命延伸への寄与」を目的に、社会的にも貢献していくことが狙いです。

学長メッセージ

鹿屋体育大学は、国立唯一の体育大学として、令和3年度に開学40周年を迎えました。そして、令和4年度には、未来に向けた鹿屋体育大学の挑戦として、西暦2050年をターゲットイヤーとする長期ビジョンNIFS NEXT30を策定しました。NIFS NEXT30では、本学が将来にわたり養成を目指す人材像として、A.C.E. Kanoya【活気ある、独創的な、精鋭】をスローガンに掲げ、「先導的かつ即戦力となる人材」の育成を基盤に、「スポーツ界のオピニオンリーダー」および「国際大会で活躍するアスリート」の輩出を目標としています。

近年のスポーツ界における情報通信技術の活用は、アスリート支援の高度化および専門化を加速し、またトレーニングやコーチング、あるいは個人やチームの戦術および戦略の決定や健康づくりを目的とした運動プログラムの実践には、様々な科学技術が関与しています。しかし、その一方で、情報通信技術の著しい発達と普及は、科学的エビデンスの有無に関係なく、スポーツや健康に関連する様々な情報が、社会に溢れかえるという状況を生み出していることも事実です。そのような状況下において、スポーツや武道の健全な発展のためには、科学的に裏付けられた理論と方法に基づく、指導

や普及が必要不可欠です。

大学でのスポーツ活動や学びの道は、決して平坦なものではありません。日々のトレーニングや稽古の過程において、様々な身体的、心理的な課題に遭遇し、試行錯誤を繰り返しながら、課題解決に向けた努力を続けることが求められます。しかし、それは課題が生じる背景を論理的に推理し、実践することを通して課題解決の手段を探索しつつ、かつ具体化する能力を磨く機会になるはずです。そのような実践を通しての課題解決に向けた試行錯誤は、いわば科学研究のプロセスそのものに他なりません。大学生活におけるそれら一連の試行錯誤の繰り返しは、経験知だけではなく科学的エビデンスに基づく、スポーツや武道の指導および普及を担う者にふさわしい、資質と実践力の修得につながります。

そして本学は、そのプロセスをより充実した形で実現できる、カリキュラムと指導スタッフおよび設備を有しています。

自然あふれる大隅鹿屋の地で、心身ともに充実した大学生活を送り、A.C.E. Kanoyaをめざしてみませんか。

鹿屋体育大学長 金久 博昭

スポーツイノベーション推進機構 機構長

スポーツサイエンス部門

- 体育・スポーツ科学基礎・応用研究事業
- 科学的知見の活用推進事業
- スマートスポーツ事業

スポーツパフォーマンス・コーチング部門

- 体育・スポーツ実践研究事業
- スポーツパフォーマンス研究事業
- スマートスポーツ事業

ヘルス・スポーツプロモーション部門

- ヘルスプロモーション研究事業
- スポーツプロモーション研究事業
- スマートスポーツ事業

教育支援室

- 高度化教育モデル事業
(リカレント教育、デジタル教育含む)

リサーチアドミニストレーション室

- 研究推進に関する方策の企画、立案、調整
(広報、教育研究戦略含む)



地域貢献・社会貢献

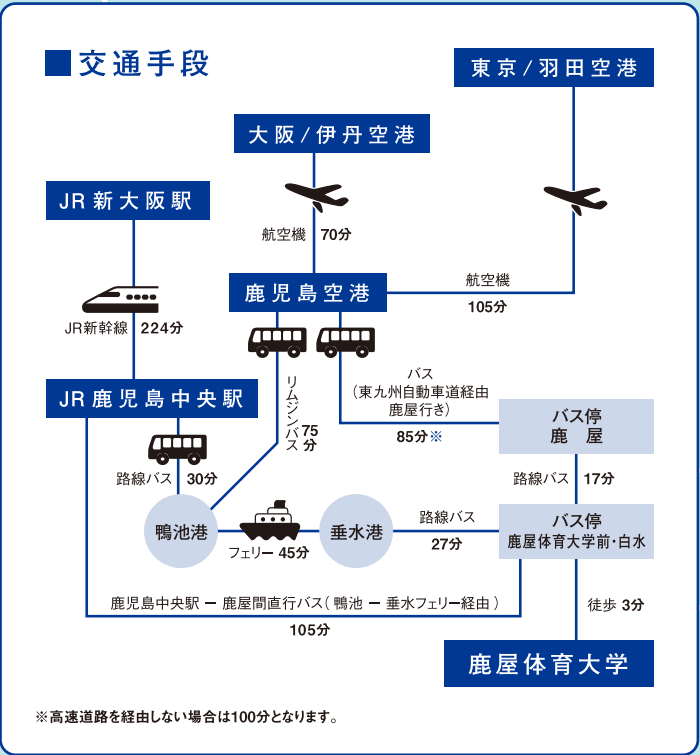
本学では、大学のもつ人的・知的資源、施設・設備等を生かし、様々な地域貢献・社会連携等の取組を行っています。学生が主体的に関わるものも多く、貴重な学びの場にもなっています。

また、大学スポーツを通じて、鹿屋市をはじめとした地域との交流の輪を広げ、地域活性化に寄与する取組であるBlue Winds事業として、大学スポーツの観戦・応援イベント(カレッジスポーツデー)やスポーツをカタルガ(語るスポーツ人材育成プロジェクト)等のイベントを実施しています。



Access & Area map

アクセス周辺環境



① かのやばら園

8haの広大な敷地に3万5千株のバラが植えられた日本最大級を誇る「かのやばら園」。鹿屋オリジナルのバラ「プリンスかのや」をはじめ、春のシーズンには、たくさんのバラが咲き誇ります。



② 平和公園串良平和アリーナ

滑走路跡の2本の直線道路が、桜の名所としても知られている平和公園にあるアリーナ。2023年10月かごしま国体では成年女子バレーボールの試合が行われる予定です。



③ 仲町・京町エリア

鹿屋市中心市街地は美味しい、楽しいがいっぱい。レトロな雰囲気のお店や鹿屋の特産物、名物を味わえるお店が数多く並びます。



④ 神徳稲荷神社

珍しいガラスの鳥居と連なる赤い鳥居が印象的な神社。静かで落ち着いた雰囲気でお参りやお宮参りにぴったりです。



⑤ 雄川の滝

近年話題になった癒しスポット。1.2kmの遊歩道を進むと大パノラマが広がり、エメラルドグリーンの滝つぼは美しく神秘的です。



⑥ 道の駅たるみずはまびら

垂水港から車で約5分の場所にある道の駅。地域の野菜や特産品を販売するマルシェや錦江湾と桜島を一望できるカフェやレストランがあります。



NIFS KANOA

国立大学法人 **鹿屋体育大学**

National Institute of Fitness and Sports in KANOYA

問合せ先：広報・企画室広報係

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

TEL：0994-46-4818 URL <https://www.nifs-k.ac.jp/>

各種SNSで情報発信中！



Twitter



Facebook



Instagram



YouTube